

利根川水系鬼怒川河川整備計画変更 について

令和8年7月27日
国土交通省 関東地方整備局

利根川水系鬼怒川河川整備計画変更について（変更までの経過）

関係県

鬼怒川・小貝川河川整備計画
関係県会議

学識経験を
有する者

鬼怒川河川整備計画
有識者会議

関係住民等

利根川水系鬼怒川河川整備計画 の策定【平成28年2月26日】

- 令和3年9月 鬼怒川緊急対策プロジェクト ハード対策完了
- 令和6年7月 利根川水系河川整備基本方針 変更(気候変動対応)
- 令和7年3月 利根川水系利根川・江戸川河川整備計画 変更(気候変動対応)

第1回:利根川水系鬼怒川河川整備計画(変更原案)の公表【令和8年1月7日】

パブコメ
(1月8日(原案公表翌日)
～2月9日)

意見募集

公聴会 **中止**※希望者なし

(2月6日(金)、7日(土))
・茨城・栃木

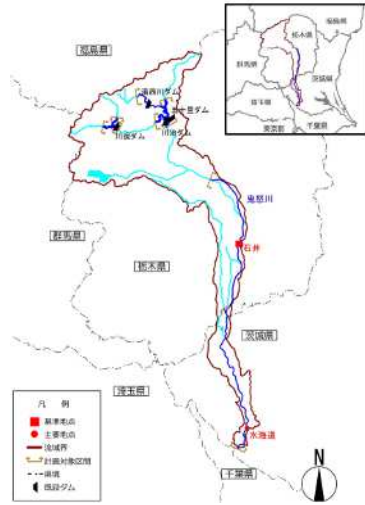
第2回:利根川水系鬼怒川河川整備計画(変更案)の公表【令和8年2月13日】

関係県・省庁
協議

利根川水系鬼怒川河川整備計画(変更)【令和8年3月30日】

利根川水系鬼怒川河川整備計画変更について（概要）

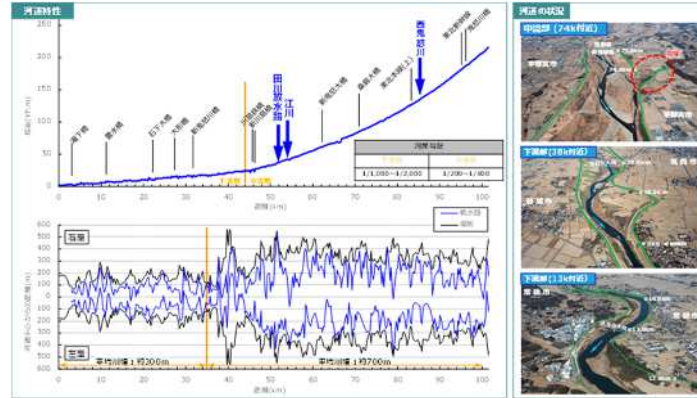
流域及び計画対象区間



計画対象区間は、概ね30年間です。

流域及び河道特性

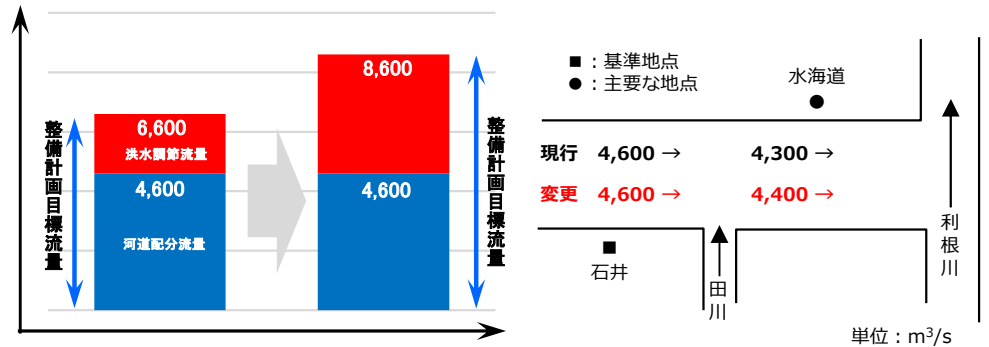
- 鬼怒川は、鬼怒沼を水源とし、栃木県と茨城県を流下し、茨城県守谷市で利根川に合流する一級河川です。
- 幹川流路延長 177km ・流域面積 1,761km² ・流域内人口 55万人
- 流域市町村 16市町（茨城県：6市1町、栃木県：6市3町）
- 鬼怒川流域は、上流域の面積が比較的大く、下流に行くほど狭い河川です。
- 広い川幅と砂礫の河床の中を流れる鬼怒川中流部では、22箇所の露堤を整備し、下流部の狭い川幅の区間では連続堤の整備を実施してきました。



気候変動をふまえた新たな目標及び達成するための主な整備メニュー

【気候変動をふまえた新たな目標】

- 基準地点石井において目指す安全の水準を、気候変動を踏まえた年超過確率1/50とした8,600m³/sとし、このうち、事前放流を含め洪水調節施設等により4,000m³/sを調節し、河道整備において対象とする流量は4,600m³/sとして、洪水による災害の発生防止又は軽減を図る。



H28河川整備計画

変更整備計画

H28河川整備計画に引き続き、堤防整備や侵食対策を実施するとともに、河道の目標流量の変更に伴い洪水を安全に流下させるために必要な河道掘削や樹木伐採を実施する。

■ 堤防整備

- 堤防の高さや幅が不足している区間や樋管の老朽化対策とあわせて、堤防整備を行います。



▲左岸 筑西市伊佐山地先

■ 河道掘削等

- 洪水を安全に流下するために必要な河道掘削を実施します。



右岸 八千代町野爪地先▲

■ 侵食対策

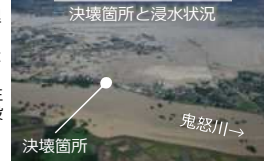
- 必要な高水敷幅が確保されていない箇所等において堤防や河岸の侵食対策を実施します。



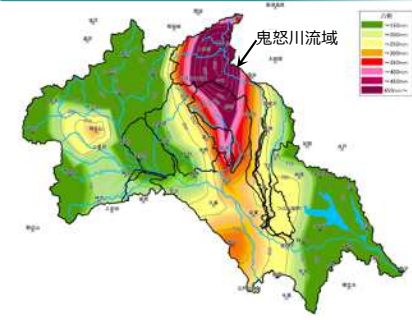
右岸 宇都宮市下岡本町地先▲

主な洪水（戦後最大被害となった平成27年9月関東・東北豪雨）

- 平成27年9月の関東・東北豪雨では、栃木県日光市の五十里雨量観測所において昭和50年の観測開始以来最多の24時間雨量560mmを記録するなど、各観測所で観測史上最多雨量を記録しました。
- この洪水により、常総市三坂町地先の鬼怒川左岸で決壊が生じ、常総市の約1/3に相当する約40km²が浸水し、常総市役所も浸水するなど大きな被害でした。



当雨量線図（9月8日～10日累加データ）



鬼怒川緊急対策プロジェクトの実施

- 平成27年関東・東北豪雨で大きな被災を受けた鬼怒川下流域では、国、茨城県、鬼怒川下流域の7つの市町が主体となって、ハード・ソフトを一体化した緊急的な治水対策を行う「鬼怒川緊急対策プロジェクト」を立ち上げ、令和3年9月にハード対策が完了しました。

着手式の様子



鬼怒川河川整備計画（H28）の進捗

- H28河川整備計画において、下流域においては、再度災害防止を目的に堤防決壊箇所の本格的復旧、堤防の整備、河道掘削、上流域においては、堤防の侵食対策を実施しています。鬼怒川緊急対策プロジェクトの完了等に伴い、下流域の流下能力を確保する対策はほぼ完了しています。

主な整備内容	進捗率 R7.3時点
堤防の整備	約98%
河道掘削	完了
支川合流点処理（田川合流点）	完了
侵食対策	約31%

■ 整備メニュー位置図

